



日本赤十字社医療センター
Japanese Red Cross Medical Center



交通のご案内



バスで来院される場合

- JR渋谷駅東口から（約15分）
学03系統：都営バス日赤医療センター行き、終点下車
- JR恵比寿駅西口から（約10分）
学06系統：都営バス日赤医療センター行き、終点下車
- 港区コミュニティバス「ちいばす」
青山ルート「日赤医療センター」下車 徒歩（約2分）

地下鉄広尾駅から徒歩で来院される場合

- 地下鉄日比谷線 広尾駅から
徒歩（約15分）

タクシー・車で来院される場合

- タクシーで来院される場合
JR渋谷駅東口から（約10分）
JR恵比寿駅西口から（約5分～10分）
地下鉄表参道駅から（約10分）
- 車で来院される場合
首都高速道路3号線
（下り）高樹町出口で降り、すぐの交差点（高樹町交差点）を左折。
（上り）渋谷出口で降り、そのまま六本木通りを直進。
青山トンネルを抜けてすぐの交差点（渋谷四丁目交差点）
を右斜め前方へ曲がる。東四丁目交差点を直進し、突き当
たり左の坂を登る。※駐車場 359 台

駐車場について：駐車台数に限りがあるため、入院患者さんの駐車場のご利用はお断りいたします。

日本赤十字社医療センター

Japanese Red Cross Medical Center

Hospital Guide

入院のご案内



日本赤十字社医療センター
Japanese Red Cross Medical Center

〒150-8935 東京都渋谷区広尾4-1-22 FAX 03-3409-1604(代表)
ホームページ <https://www.med.jrc.or.jp/> ●当センターのホームページでは、常に最新の情報を皆様にお届けしております。どうぞご覧ください。

TEL 03-3400-1311 (代表)

携帯サイトは
こちらから
ご覧いただけます。



24.07-17



理念

わたしたちは

人道・博愛の赤十字の理念に基づき

人間のいのちと健康、

尊厳を守り

質の高い医療を提供します

基本方針

- 1 受診者の意思を尊重し、共に最適の医療を目指します
- 2 医療の安全と質を高め、受診者に安心と満足を提供します
- 3 急性期医療、周産期医療、がん医療を強化します
- 4 地域における医療・介護・福祉の連携を推進し、高齢化に対応します
- 5 救急医療、災害救護、国際救援に貢献し、さらに新興感染症に備えます
- 6 働きがいのある職場環境を維持し、次世代を担う優れた医療人を育成します
- 7 IT・AIを積極的に活用し、常に進歩する医療に対応します

受診される皆さまの権利の尊重

- 1 個人の尊厳、個人情報、プライバシーが守られる権利
- 2 個人の意思、価値観、人格が尊重される権利
- 3 安全、良質で公正な医療を受ける権利
- 4 必要かつ十分な情報提供と説明を受ける権利
- 5 医療の内容や治療方法を自らの意思で選ぶ権利
- 6 自分の病気について他の医師の意見を求める権利
- 7 診療録の開示を求める権利

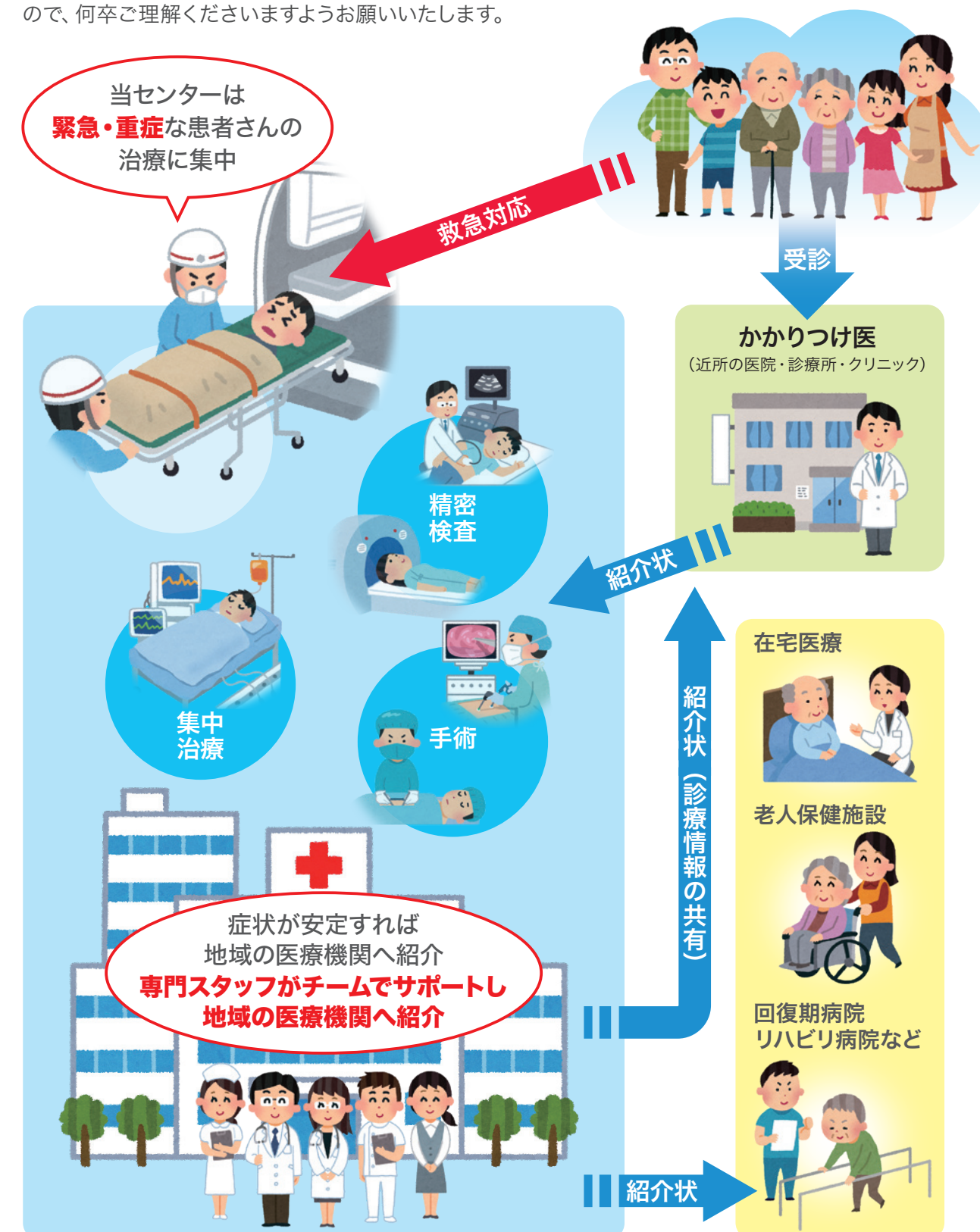
日本赤十字社医療センターは地域の急性期医療を担います

当センターは、専門的・急性期医療を提供する地域医療支援病院に指定されております。

日頃は「かかりつけ医」、専門的・急性期医療は「日本赤十字社医療センター」と役割を分担し、地域の医療機関と紹介・逆紹介しながら、患者さんの健康を守る医療体制を支えています。

急性期・重症の患者さんを「1日でも早く、1人でも多く」受け入れるため、専門的・急性期の治療が終了し、状態の安定した患者さんには、他の医療機関への転院や早期の退院をお願いしております。

当センターは、国が推進する医療体制に積極的に協力し、専門的・急性期医療の提供に特化しておりますので、何卒ご理解くださいますようお願いいたします。



ご質問・ご相談等ございましたら、1階「患者支援センター」(P.22)へお問い合わせください。

個人情報取り扱い

当センターは患者さんの個人情報保護に全力で取り組んでいます。

当センターは、個人情報を下記の目的に利用し、その取り扱いには細心の注意を払っています。

個人情報の取り扱いについてお気づきの点は、2階医事課窓口までお気軽にお申し出ください。

当センターにおける個人情報の利用目的

◎医療の提供

- ・当センターでの医療サービスの提供
- ・他の病院、診療所、助産所、薬局、訪問看護ステーション、介護サービス事業者等との連携
- ・他の医療機関等からの照会への回答
- ・患者さんの診療のため、外部の医師等の意見・助言を求める場合
- ・検体検査業務の委託、その他の業務委託
- ・ご家族等への病状説明
- ・患者さんのお名前について、外来待合室や全館放送でのお呼び出し、または病室への表示
- ・その他患者さんへの医療提供に関する利用

◎診療費請求のための事務

- ・当センターでの医療、介護、労災保険および公費負担医療に関する事務およびその委託
- ・審査支払機関へのレセプト提出、審査支払機関または保険者への照会
- ・審査支払機関または保険者からの照会への回答
- ・公費負担医療に関する行政機関等へのレセプト提出、照会への回答
- ・医療費の未収金等に係る債権回収業務委託先への情報提供
- ・その他、医療、介護、労災保険および公費負担医療に関する診療費請求のための利用

◎当センターの管理運営業務

- ・会計・経理
- ・入退院等の病棟管理
- ・医療事故等の報告
- ・その他、当センターの管理運営業務に関する利用
- ・患者さんの医療サービスの向上

◎企業等から委託を受けて行う健康診断等における、企業等へのその結果の通知

◎医師賠償責任保険などにかかる、医療に関する専門の団体、保険会社等への相談または届出等

◎医療・介護サービスや業務の維持・改善のための基礎資料

◎当センター内において行われる医療実習への協力

◎医療の質の向上を目的とした当センター内での症例研究

◎外部監査機関への情報提供

◎日本赤十字社への情報提供

◎国および東京都へのがん登録にかかる情報提供について

- ・地域がん登録事業および院内がん登録事業における医療機関から都・がん研究センターへの診療情報の提供は、個人情報法等で規定する「利用目的による制限」および「第三者提供の制限」の本人同意の原則適用除外の事例に該当するとされています(厚生労働省健康局長通知2004年1月)。
- ・また、「医療・介護関係事業者における個人情報の適切な取扱いのためのガイダンス(厚生労働省2017年4月)」でも、地域がん登録事業および院内がん登録事業への情報提供は、公衆衛生の向上のために特に必要な場合に該当するため、「本人の同意を必要しない」とされています。
- ・当センターは、がん診療連携拠点病院であり、登録した情報を毎年東京都および国に提出する、がん登録に参加しています。当センターでは生存率調査のため登録情報を基に予後調査(生存確認調査)を実施しています。予後調査の際に当センターで情報把握ができない場合は、国立がん研究センターへ委託し、住民票照会を行うことがあります。住民票照会にご同意いただけない場合は、がん相談支援センター(1階)にお申し出ください。お申し付けがない場合は、同意されたものとして取り扱いさせていただきます。

◎医療の質の向上を目的とした医学・学術研究(当センターの臨床研究倫理委員会を通した研究に限る)※

◎医療職の専門認定など資格申請※

◎医学的知識普及を目的とした講演・著述などでの利用※

[付記]

- 1.上記のうち、同意しがたい事項がある場合には、その旨をお申し出ください。
- 2.お申し出がないものについては、同意していただいたものとして取り扱わせていただきます。
- 3.これらのお申し出は後からいつでも撤回、変更等を行うことが可能です。

※個人を識別できる情報は削除しております。

患者さんご家族に守っていただきたいこと

- 体調の変化や、診察中に何か変化があったことなど、健康に関する情報は、医師や看護師などにお知らせください。

- 治療や検査などの医療行為については、説明を十分に理解した上で、受けるかどうかの最終判断は患者さんご自身がなさってください。説明に不明な点や理解できない部分があれば、遠慮せず医師にご質問ください。

- 病状や治療方針の説明を受けるときは、聞きまちがいや、まちがった理解を防ぐために、できるかぎり家族や介護者と一緒に聞きください。

- 医療費の請求を受けたときは、速やかに対応してください。医療費の不払いがあるとき、診療・個室入室・診断書発行などをお断りする対応をとらせていただくことがあります。

- 病院の敷地内では、他の人の迷惑にならないように静粛を保つとともに、他者に対する配慮を忘れないでください。

- 故意または不注意により病院建物や敷地内および建物内の機器等を破損した場合は、原状回復に必要な費用をお支払いいただきます。

- 当センターでは、安全と秩序を確保し、全ての利用者と職員のプライバシーを尊重するために、次の行為は固く禁止されています。これらの規則に違反すると、診療の中止、警察への通報、退院の要請等の対応をとらせていただくことがあります。

- ・診療の指示に反する行為

- ・不適切な行為：暴言、暴力、脅迫、強要、セクハラ、物の破損、窃盗など

- ・喫煙：病院敷地内全域(屋内外、周辺地域含む)での喫煙(電子タバコ、加熱式タバコ含む)

- ・禁止物品の持ち込み：刃物、発火物、アルコール等。病院敷地内での飲酒も禁止

- ・プライバシーの侵害：写真撮影(動画含む)、録音、ブログやSNSへの情報投稿(特別な許可が下りた場合を除く)

〈その他のお願い〉

- 職員に対するお心づけは固くお断りしております。

- 当センターは教育施設です。次世代の医療人の育成にご協力をお願いします。

- 入院中は当センター職員の指示に従ってください。



目次

■入院決定から入院当日までの流れ	7
■入院当日には	8
・ご準備いただくもの	8
・当センターの診療体制・看護体制	8
■入院中の生活	9
・入院中の生活について	9
・持ち物の整理整頓と盗難防止について	10
・病室における電化製品の取り扱いについて	10
・持ち込み禁止品について	10
・設備やサービス等について (Wi-Fiサービスのご案内)	11
・院内Wi-Fiサービスご利用に際してのお願い	12
・外出・外泊について	13
・面会について	13
・付き添いについて	14
・セカンドオピニオンについて	14
・入院中の他医療機関受診の注意事項について	14
・患者さんの安全について	15
■室料差額及び設備一覧	16
■入院病棟・病室のご案内	17
■入院費の計算方式について	18
■後発医薬品等の使用について	18
■食事療養費について	19
■特別メニューの提供について	19
■限度額適用認定証について	20
■患者支援センター／医事課窓口／がん相談支援センターのご案内	22
■退院決定から退院までの流れ／入院費のお支払い	23
■診断書・証明書の作成申込について	24
■災害時(地震・火災発生時)の対応	24
■一般病棟フロアマップ(7階～11階)	25
■施設案内	26
■フロア構成表	27
■交通のご案内	28



病室 (個室/Aタイプ)



病室 (4人室)



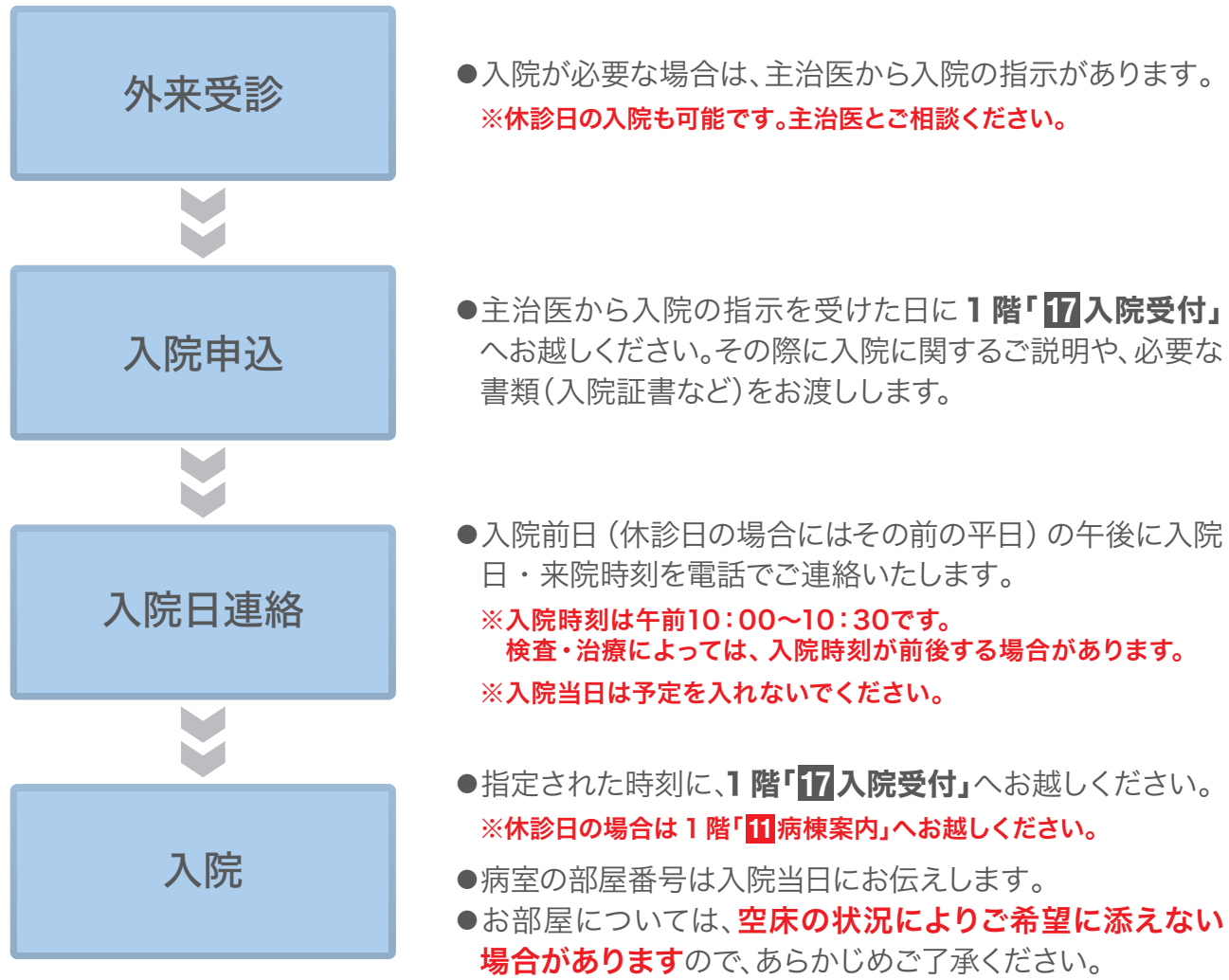
周産母子ユニット (個室/MBタイプ)



スタッフステーション (一般病棟)

※病室のタイプ・設備・差額については
P.16・17をご覧ください

1 入院決定から
入院当日までの流れ



●休診日 土曜日、日曜日、祝日、12月29日～1月3日、5月1日(日本赤十字社創立記念日)

1 入院当日には

事前にお伝えした日時に1階「**17 入院受付**」へお越しください。休診日の場合は、1階「**11 病棟案内**」へお越しください。病室の部屋番号は、入院当日にお知らせいたします。

ご準備いただくもの

入院手続きに必要なもの

- ☐ 診察カード
- ☐ マイナンバーカード・資格確認書・健康保険証・各種医療券 など
- ☐ 入院申込書（兼誓約書）

■**限度額適用認定証**（お持ちの場合）
※当センターからの直接照会利用を希望する方は、入院申込書に同意チェックをお願いします。（詳しくはP.20をご覧ください）

※保証金はいただいておりません。
※現金・貴重品のお持ち込みは必要最小限をお願いいたします。
※当センターでは金額の多少に関わらず、現金・貴重品は一切お預かりしません。
※売店内に現金自動預け払い機（ATM）を設置しております。

入院生活に必要なもの

- ☐ 現在使用しているお薬（入院予定日数分）
 - ☐ お薬手帳・お薬の説明書
 - ☐ 入院のご案内パンフレット
 - ☐ その他、外来で説明をうけた書類
 - ☐ 寝巻・パジャマ（前開き）※レンタル有り
 - ☐ 下着
 - ☐ マスク
 - ☐ 洗面用具（歯磨きセット・シャンプー・ボディーソープなど）
 - ☐ コップ（割れない素材のもの）
 - ☐ タオル・バスタオル ※レンタル有り
 - ☐ 履物（滑りにくいもの）※P.15をご確認ください
 - ☐ ティッシュペーパー
 - ☐ テレビ/スマホ用イヤホン（多床室に入院する方）
 - ☐ 義歯、保管用容器と洗浄剤（義歯をお使いの方）
- ※以上のものは売店でも販売しております。
※□内のは、室料差額個室を利用する場合、備えつけられています。（一部個室を除く）
※箸・スプーン・湯のみはお食事の際に提供させていただきます。

当センターの診療体制・看護体制

- 診療科ごとに主治医および担当医を決めています。
- 夜間・休日は原則として当直医が診療します。
- 主治医からの病状説明、手術や処置の説明・相談対応などは、原則として平日の8:30～17:00に実施します。ご理解とご協力をお願いします。**
- 入院前からの診察・検査予約がある場合はお申し出ください。入院中に主治医から改めてご説明します。
- 入院の主目的と異なる緊急性のない診療科の受診は、退院後にあらためて受診していただきます。
- 看護体制は急性期一般入院料1（7対1）の看護体制をとっています。
- 看護師の勤務体制は変則2交代制（日勤と夜勤）です。

入院中の生活

入院中の生活について



病室の点灯・消灯

- 病室の照明は、6:00に点灯し、22:00に消灯します。

リストバンドと入院カード

- 当センターでは安全な医療・看護を行うために、リストバンドの装着をお願いしております（リストバンドは病棟にて職員が装着させていただきます）。
- 入院中は、リストバンドおよび入院（セキュリティ）カードを常時身に付けておいてください。病棟への出入り時に必須となります。

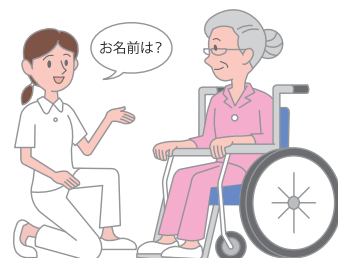


ナースコール

- 看護師にご用の方はナースコールでお知らせください。浴室やトイレにもナースコールがあります。ご気分が悪くなった時などにご利用ください。

お名前の確認

- 検査・処置を行う都度、患者さんの取り違えを防ぐため、患者さんご自身にお名前を名乗っていただいておりますので、ご協力をお願いいたします。



食事・食物

- 食事は治療の一環であり、医師がその種類を決定しますので、食物の持ち込みおよび患者さん同士の飲食物のやり取りはご遠慮ください。
- アレルギー等による禁止食材や主食の種類などの要望をお尋ねします。なお、嗜好による禁止食材には対応いたしかねます。
- 宗教上の制限がある場合は、ご相談ください。



お薬

- 入院前に使用していた薬とお薬手帳は必ずご持参の上、医師や薬剤師、看護師にお知らせください。
- 医師から指示された薬以外は使用しないでください。



シャワー

- シャワーは病状により許可されない場合があります。医師・看護師の指示に従ってください。

持ち物の整理整頓と盗難防止について

- 持ち込み品はロッカーの中に収納できる量にしてください。
- 貴重品は床頭台の中に備えてあるセーフティボックスに入れて、必ず鍵をかけ、鍵は常時身に着けておいてください。**手術時などであっても、病院でお預かりすることはできません。**ご家族等で管理してください。
- 入院中の盗難、紛失、破損に関しては一切の責任を負いかねます。**自己責任の下、管理を厳重に行ってください。
- 補助具等の持ち込みについても紛失しないよう患者さんご自身で管理してください。
- 多額の現金の持ち込みは行わないでください。**病院がお預かりすることはできません。**
- パソコンなどの精密機器の扱いについては破損などに注意して保管してください。
- 防災上、病室窓側のスペースには私物を置かないでください。

病室における電化製品の取り扱いについて

- テレビやパソコン、スマートフォンなど、光や音が出る機器については、周りの患者さんの迷惑とならないよう、起床から消灯までの時間内にご利用ください。
- 音声の出る機器については、必ずイヤホンをご使用ください。イヤホンは売店で購入できます。

持ち込みいただける電化製品

●電気シェーバー（消費電力20Wまでのもの）

●オーディオ機器（消費電力200Wまでのもの）

●ドライヤー（消費電力によらず、シャワールームでご使用ください）

●ノート型パソコン（消費電力400Wまでのもの）

●ポータブルDVDプレーヤー等（消費電力50Wまでのもの）

持ち込み禁止品について

当センターでは、火災等の危険及び感染管理上、次のものは持ち込みをお断りしています。

- 電気ポット ●加湿器 ●電気毛布 ●電気アンカ ●電気ストーブ ●湯たんぽ
- 電子レンジ（ラウンジに電子レンジを設置していますので、ご利用ください。）
- その他、消費電力1,000Wを超えるもの

また、次のような危険物等の持ち込みをお断りしています。遵守できない場合、診療を中止し退院していただきます。悪質と思われるものについては、警察に通報します。

●刃物類：はさみ、かみそり、ナイフ、カッターなど

●先端が細く尖ったもの：針、ドライバーなど

●発火物：ライター、マッチなど ●アルコール（ノンアルコールビール類も含む）

●タバコ/電子タバコ/加熱式タバコ ●香料：アロマポット・香水・お香など ●切り花・鉢植え



設備やサービス等について（Wi-Fiサービスのご案内）

1 テレビ

●6:00~22:00までご利用できます。
消灯後のご利用はお控えください。

●個室を除き、利用時はイヤホンをご利用ください。

●ご利用には、専用のテレビカードが必要です。

2 テレビカード
（保冷库・洗濯機・乾燥機兼用）

●テレビカードは1枚1,000円です。

●カードは各病棟のラウンジに設置されている「カード販売機」で購入できます。

●カードの使用方法は職員が説明します。

●個室（一部を除く）の場合は、無料にご利用できます。

●残高分は、病棟案内に設置されている精算機にて返金可能です。

3 保冷库

●ベッドサイドの保冷库をご利用ください。

●ご利用には、専用のテレビカードが必要です。

●個室（一部を除く）の場合は、無料にご利用できます。

4 電話

●公衆電話はエレベーターホールにあります。

●携帯電話での通話は、周りの患者さんの迷惑とならないよう、ラウンジ等でお願ひします（個室を除く）。また、マナーモードの徹底にご協力ください。

●携帯電話での通話以外のメール等の使用制限はありません（ICUなど特殊なエリアでの使用はできません）。

5 シャワー

●各病棟に共有シャワールームが2室あります。

●予約制です。事前に病棟の職員へ希望の時間をご相談のうえご利用ください。

●シャンプー台は1室のみ設置されています。

6 床頭台（セーフティボックス）

●引き出しの中にセーフティボックスを設置しています。

●貴重品や現金などの保管にご使用ください。

●必ず鍵をかけ、鍵は常時身に着けて管理してください。

●**盗難・紛失に関しては自己責任となります。当センターでは責任を負いかねますので十分ご注意ください。**

7 パジャマ・タオル等のレンタルについて

●ご利用にあたっては申込書と説明書のもとに職員がご説明します。

●入院日からご利用できます。

8 洗濯機・乾燥機

●各病棟にランドリーコーナーがあります。

●洗剤は各自でご用意ください。

●6:00~22:00までご利用できます。
22:00までに使用を終了してください。

●ランドリーコーナーに設置された予約表にお部屋番号をご記入の上、ご利用ください。

●利用料金 洗濯機：200円、乾燥機：100円

●現金もしくはテレビカードでご利用いただけます。

9 Wi-Fiサービスについて

●病棟エリアで24時間無料の院内Wi-Fiがご利用できます。

無線LAN規格
IEEE802.11a準拠
SSID
amenity
IPアドレス/パスワード
自動取得/nisseki-amenity

●回線および電波状況により十分な速度で動作しない場合があります。

●P.12「院内Wi-Fiサービスご利用に際してのお願い」をご参照ください。

院内Wi-Fiサービスご利用に際してのお願い

当センターでは外来、病棟エリアで24時間無料の院内Wi-Fiがご利用になれます。

ご利用にあたっては、必ず下記の利用規約と注意事項をお読みください。

院内Wi-Fiサービスのご利用をもって、

本規約などにご承諾いただいたものといたしますので、ご承知おきください。

利用規約

- 1 院内Wi-Fiサービスは(以下「本サービス」という。)日本赤十字社医療センターに入院中、外来受診中の方へ提供するサービスです。当センターと関係のない方や本規約にご同意いただけない方は利用を中止させていただく場合があります。
- 2 本サービスを利用される際には、以下の「機器の利用に関する基本的ルール」を遵守してください。
- 3 本サービスの利用にあたっては「不正アクセス行為の禁止などに関する法律」その他の法令を遵守願います。
- 4 本サービスを利用しての犯罪、迷惑行為を禁止します。
- 5 適切な利用を図るため、特定のWebサイトへの接続を制限することがあります。
- 6 本サービスの接続履歴を記録し、要請に応じて捜査機関へ提出することがあります。
- 7 本サービスは混雑時や夜間、機器メンテナンスなどで予告なしに一時停止または中止させていただくことがあります。
- 8 回線および電波状況により十分な速度で動作しない場合があります。本サービスは動作、速度についての保証をしているものではありません。
- 9 本サービスの利用料金は無料ですが、インターネット上の有料サービスは利用者負担となります。利用できるサービスはWebページの閲覧、メールの送受信に限定いたします。
- 10 本サービス利用中のコンピューターウィルス感染などにつきましては、一切の責任を負いません。セキュリティ対策はご自身の責任の下ご利用ください。
- 11 本サービスの利用者間でのトラブル、利用によって生じたあらゆる損害について、当センターは一切責任を負いません。
- 12 本規約は予告なしに変更する場合があります。

機器の利用に関する基本的ルール

- 1 パソコン、モバイル機器、LANカード等の機器の貸し出しは行っておりません。必ずご自身でご用意ください。
- 2 当センターでは設定および利用に関する技術的サポートは行っておりません(設定はOSごと、機器ごと、メーカーごとに異なります。接続は必ずご自身で行ってください。ご不明点については、お持ちの機器の取扱説明書をご参照ください)。
- 3 機器の利用は、周囲の迷惑とならないように、サイレントモードでお使いください。
- 4 多床室、中待合、検査室での通話は原則禁止としております。
- 5 パソコンのキーボードなどの操作もできるだけ小さな音で行ってください。
- 6 機器を操作しながら歩くなどの行為は危険ですでおやめください。
- 7 病室、病棟ラウンジ以外の場所での電源コンセントのご利用はおやめください。

外出・外泊について

- 外出・外泊は医師の許可が必要です。ご希望の際は、病棟看護師にご相談ください。
- 無断で外出・外泊された場合は、入院の継続をお断りすることがあります。

面会について

●面会時間 14:00～20:00(全日)

- 手術や検査等で、上記時間以外の面会が必要な場合は病棟看護師にご相談ください。
- 感染症や病院の都合により、面会を制限する場合があります。
- 最新の情報は、当センターホームページに掲載していますので、右記二次元コードよりご覧ください。



【面会手続き】

当センターはセキュリティ確保の観点から、面会(セキュリティ)カードによる管理を厳重に行っています。ご理解の上、ご協力いただきますようお願いいたします。

- 1階「病棟案内」にて「面会申込書」に必要事項をご記入ください。担当者が、面会カードを発行いたします。
- 面会カードを「病棟案内」のカードリーダーにかざして、病棟用エレベーターを使用して病棟にお上がりください。
- お帰りの際は、1階「病棟案内」に面会カードを返却してください。

【留意事項】

- 面会者の選別については、患者さんのご希望に応じて対応しています。面会の可否につきましては、患者さん・ご家族から関係者への連絡をお願いします。
- 患者さんのプライバシーを尊重する観点から、患者さんの入院に関して外部から電話があった場合は、一切お答えしません。
- 面会は診療の妨げや他の方への迷惑とならないよう少人数で、できるだけ短時間で行います。
- 面会の方の病室内での飲食は禁止しています。ラウンジ内での食事はできません。なお飲水は可能です。
- 感染症予防のため、切り花・鉢植えなどの植物の持ち込みは禁止しています。
- 感染症にかかりやすい患者さんの感染予防、季節性感染症の予防等の対応で、マスクの着用や手指消毒のご協力をお願いすることがあります。
- 小学校就学前のお子さまとのご面会は、事故・感染防止のため極力お控えください。(やむを得ずお子さまをお連れの方は、ラウンジをご利用ください)

【面会をお断りさせていただく方】

- 発熱・発疹・吐き気や嘔吐・咳・下痢・鼻水・眼症状(充血や目やに)等の症状がある方
- 面会者やそのご家族等身近な方がインフルエンザ・はやり目・はしか・風しん・みずぼうそう・おたふくかぜ・感染性胃腸炎・新型コロナウイルス等の感染症にかかっている方

【個別の面会対応をしている病棟】

以下の病棟等の面会に関しては、入院後に看護師より別途説明します。

病棟	面会時間	面会者の制限	人数制限	場所	年齢制限	飲食
11A病棟	14:00～20:00 (30分以内)	ご家族 (2親等まで)・ パートナーのみ ＊クリーンルーム は不可	1日1回 2名まで	【多床室】 ラウンジ 【個室】 入院個室	小学生以下は 不可	—
6A病棟(緩和ケア病棟)	9:00～20:00	なし	—	—	—	—
6B病棟(小児病棟)	6:00～22:00	ご両親・祖父母 のみ	1人ずつ 交代で入室	—	—	—
5A/5B周産母子ユニット /MFICU	14:00～20:00	ご家族・パートナー のみ	3名まで (お子さま含む)	【多床室】 ラウンジ 【個室】 入院個室	お子さまの 年齢制限なし。 ただし、大人の 付き添いが必要。	【多床室】 ご遠慮ください 【個室】 可能
分娩室	立ち会いは 24時間可	ご家族・パートナー	3名まで (お子さま含む)	—	お子さまの 年齢制限なし。 ただし、大人の 付き添いが必要。	—
NICU/GCU	ご家族(ご両親、祖父母)は、同時に2人まで24時間面会できます。ただし、以下の制限があります。 ①処置・検査等のため面会をご遠慮いただく時間があります。 ＊面会できない時間 8:00～11:00、16:00～17:30 ②ごきょうだいの面会は、予約制です。					
EICU/EHCU/ICU	中学生以上のご家族(ご両親、パートナー、祖父母、おじ、おば、ごきょうだい、お子さま)のみ面会できます。					

付き添いについて

- 付き添いは原則としてお断りしています(小児病棟を除く)。
- 特別な事情がある場合は看護師にご相談ください。

セカンドオピニオンについて

「当センター以外の医師の意見も聞いてみたい」というご希望がありましたら、遠慮なく主治医または看護師にお申し出ください。必要な資料を準備します(有料)。

入院中の他医療機関受診の注意事項について

入院中に他医療機関を受診する場合、その診療費は健康保険の適用外となり、全額自己負担となります。
突然の入院で、他医療機関で処方された薬が足りなくなる可能性がある場合は、すぐに主治医や看護師へご相談ください。
他医療機関の専門的診療が必要と主治医が判断した場合のみ、当センターの負担で他の医療機関を受診していただくことがあります。この手続きは主治医または看護師から説明いたします。

患者さんの安全について

1)同姓同名や同じ病名の患者さんとの間違いを防ぐための確認について

- 検査や処置の際には、患者さんご自身に氏名や生年月日を名乗っていただきます。
- お菓の袋や点滴ボトル、ベッドなどにご自分の名前が正しく書かれているかご確認ください。
- 入院中は入院(セキュリティ)カードおよびリストバンドを常に身に付けてください。

2)個人の尊厳と危険防止の兼ね合いについて

- 患者さんの状態によっては、転倒・転落などの危険防止のために、やむを得ず行動制限を実施する場合がありますが、その際は必要最小限とし個人の尊厳を最優先といたします。

3)院内感染防止について

- 職員は「病院感染対策マニュアル」に従って診療をしています。
- 院内にはさまざまな患者さんが入院していますので、感染防止のために手洗いや備え付けの手指消毒薬での消毒をお願いします。

4)転倒・転落防止について

- 入院中は、体力や運動機能の低下、生活環境の変化により思いがけない転倒・ベッドからの転落事故が起こり得ます。
- 当センターでは、入院生活の環境を調えながら転倒・転落の危険性を早期に判断し、防止策を検討して患者さんに安全で快適な入院生活を送っていただけるよう努力しています。

入院中は次のことにご注意ください

- 転倒予防のために、日ごろから履き慣れたかかとを覆う履物をご使用ください。
 - ベッドの上には、絶対に立ち上がらないでください。
 - 寝巻やパジャマは、裾を引きずらないように調整してください。
 - ベッド柵は、必ず2つ以上ご使用ください。
- ご心配なことがありましたら、遠慮なく主治医や看護師にご相談ください。

履物の紹介



歩行時に脱げにくく、足を動かしやすいため、かかとを覆う履物を推奨しております。商品の一部は、当センター内の売店にて販売しています。



室料差額及び設備一覧

ご入院時、室料差額部屋をご利用される場合の1日あたりの料金は、下表のとおりです。

病棟	等級	床数	室料差額(税別価格)	消費税区分	広さ(m ²)	デラックスバス	ユニットバス	ユニットシャワー	トイレ	洗面台	ロッカー	ミニキッチン	冷凍冷蔵庫	保冷庫	テレビ・床頭台他
特別個室病棟 (12階) ※全室個室病棟	S	1床	122,100 円 (税別：111,000 円)	課税	50.65㎡	●			●	●	●	●	●		●
	A	2床	61,600 円 (税別：56,000 円)	課税	31.00㎡		●		●	●	●		●		●
	C	12床	48,400 円 (税別：44,000 円)	課税	24.01㎡			●	●	●	●		●		●
	E	10床	40,700 円 (税別：37,000 円)	課税	19.95㎡			●	●	●	●			●	●
一般病棟 (7階～11階) ※原則15歳以上の患者さんがご入院される病棟	B	9床	45,100 円 (税別：41,000 円)	課税	31.00㎡		●		●	●	●			●	●
	※1 D	7床	41,800 円 (税別：38,000 円)	課税	31.00㎡			●	●	●	●			●	●
	G	83床	30,800 円 (税別：28,000 円)	課税	19.95㎡			●	●	●	●			●	●
	※2 窓側	150床	2,200 円 (税別：2,000 円)	課税	8.37㎡						●			◎ 有料	◎ 有料
緩和ケア病棟 (6階)	F	9床	35,200 円 (税別：32,000 円)	課税	24.01㎡			●	●	●	●			●	●
小児病棟 (6階)	G	4床	30,800 円 (税別：28,000 円)	課税	19.95㎡			●	●	●	●			●	●
	※2 窓側	12床	2,200 円 (税別：2,000 円)	課税	8.37㎡						●			◎ 有料	◎ 有料
5A 周産母子ユニット (5階 産前)	※3 ML	1床	120,000 円	非課税	40.90㎡	●			●	●	●		●		●
	MA	4床	39,000 円	非課税	24.01㎡			●	●	●	●			●	●
5B 周産母子ユニット (5階 産後)	※4 MS	1床	150,000 円	非課税	67.85㎡	●			●	●	●	●	●		●
	MA	2床	39,000 円	非課税	24.01㎡			●	●	●	●			●	●
	MB	13床	30,000 円	非課税	19.95㎡			●	●	●	●			●	●
	MC	6床	20,000 円	非課税	17.28㎡				●	●	●			●	●
	MD	6床	18,000 円	非課税	14.27㎡				●	●	●			●	●

※1 一部病棟にはございません。
※2 4人部屋は、窓側と通路側のいずれをご希望された場合でもテレビおよび冷蔵庫利用時にテレビカードが必要です。
※3 個室内で出産が可能。2名まで付添宿泊可(料金込み)。お子さまは入院中のお子さまのごきょうだいのみ。お子さまのみの宿泊は不可。
※4 3名まで付添宿泊可(料金込み)。お子さまは入院中のお子さまのごきょうだいのみ。お子さまのみの宿泊は不可。



入院病棟・病室のご案内

当センターにご入院されるすべての患者さんの療養環境向上のため、以下の事項をお読みいただき、ご理解とご協力をお願いいたします。

病室のご希望について

ご入院手続き時に第3希望までご記入いただいております。ただし、当センターは急性期医療の役割を担っており、重症あるいは病状が不安定な患者さんを滞りなく受け入れられるように病床管理を行っています。そのために、**ご希望の病室が確保できないことや、ご入院後に病棟や病室の移動をお願いすることがあります。**

4人部屋の利用について

他の患者さんと同室のため、他の患者さんの音やにおい等の影響を受けることもあります。**夜間も入院患者さんが入ることがあります。**できるだけ影響を小さくするよう努力いたしますが、あらかじめご了承ください。

病棟や病室の移動について

患者さんあるいは他の患者さんの病状や緊急処置のために、**病棟や病室の移動をお願いすることがあります。**その際、できるだけご希望の病室に移動できるように調整いたしますが、場合によってはご希望に添えないことがあります。

病状等の要因による個室への移動について

以下の状況が発生した場合は個室への移動をお願いすることがあります。その際は主治医および病棟看護師よりご説明します。

- ・病状により安静が必要
- ・病状により看護師による頻回な観察が必要
- ・免疫力の低下により感染症に罹患する恐れがある
- ・感染力のある感染症に罹患し、他の患者さんへの感染防止が必要
- ・大声を出すなど、他の患者さんの療養環境に影響を及ぼしている

入院中に病室の変更を希望する場合の手続きについて

病棟スタッフにお申し出ください。

室料差額料金の計算方法

室料差額料金は1日(0時から24時)単位の金額です(ホテル等の計算方式とは異なりますのでご注意ください)。例えば、1泊入院は2日分の室料差額料金となります。ご入院時間に関わらず、1日単位として計算します。なお、健康保険適用外となります。



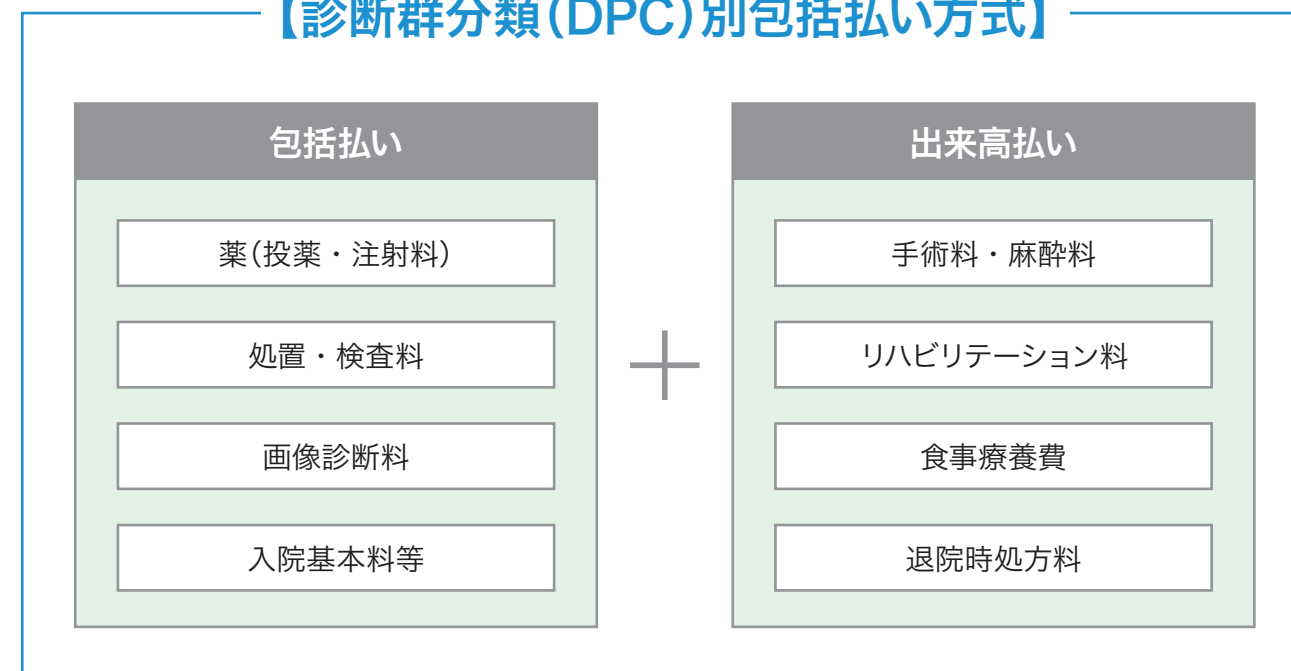
入院費の計算方式について

当センターは、厚生労働省より「診断群分類（DPC）別包括払い方式」対象病院の指定を受けております。「診断群分類（DPC）別包括払い方式」（下図参照）は、病名や診療内容などによって分類された「診断群別」にあらかじめ1日あたりの料金を定められた『包括払い部分』と『出来高払い部分』の金額を合算する計算方法です。

入院中に治療目的や診療内容が変わった場合、入院した初日にさかのぼって再計算する必要があり、すでにお支払いされた入院費が追加または返金となる場合がありますことをあらかじめご了承ください。

なお、病名や診療内容などによって、すべて出来高払い方式となる場合があります。また、健康保険証を使用しない入院や治療、先進医療、臓器移植等は、すべて出来高払い方式となります。

【診断群分類（DPC）別包括払い方式】



上記に加え、健康保険適用外の室料差額や文書料等を請求します。



食事療養費について

1食あたり490円となります。

乳幼児へのミルク提供1回は提供量に関係なく、1食として計算されます（1日3食上限）。

有効期限内の“減額認定証”を提示された方は、「区分Ⅱ：230円/食」「区分Ⅰ：110円/食」となります（請求書発行後やお支払い後の提示では、金額を変更することができません）。

配膳後、患者さんの都合により食事を召し上がらなかった場合でも、食事療養費を請求いたします。



特別メニューの提供について

当センターでは、食事制限のない患者さんを対象に、通常の食事よりも高価な食材を使用した特別メニューの提供を行っています。ご希望の方は医師または看護師にお申し出ください。ただし、食物アレルギーや嗜好等により召し上がれない食品についての対応はいたしかねますのでご了承ください。

なお、希望された場合は、食事療養費のほかに別途1食1,320円（健康保険適用外・税込）を請求いたします。ご不明な点がございましたら病棟スタッフにお尋ねください。

特別メニュー（例）



後発医薬品等の使用について

当センターでは、患者さんの医療費の負担軽減や国の政策を推進する観点から、入院および外来において、後発医薬品（ジェネリック医薬品）やバイオ後続品（バイオシミラー）を積極的に使用しています。

入院中の後発医薬品等の使用について、ご理解とご協力をお願いいたします。



限度額適用認定証について

1. 限度額適用認定証とは

限度額適用認定証（以下、限度額証）は、あなたの医療にかかる医療費の負担を抑えるための大切な証書です。この証書を医療機関に提示すれば、高額な入院費や外来診療費の支払いが、決められた自己負担限度額（表1・2参照）までに制限されます。

この証書を持っていないと、自己負担限度額を超えた医療費も全額自己負担となりますが、「高額療養費制度」を利用することで、健康保険証を発行している保険組合から超過分を還付してもらうことができます。入院費用は思いの外、高額になることが多いので、当センターでは限度額証の利用を推奨しています。

2. 直接照会利用なら申請不要

当センターでは、あなたが直接健康保険組合に申請しなくても限度額証を利用できるよう、オンライン資格確認システムを導入しています。当センターが健康保険組合へ直接、あなたの限度額証の資格情報を照会することが可能です。

手続きは簡単で、当センターへのご申告だけで、すぐに限度額証を利用できます。ただし、このシステムを利用するには、あなたの同意が必要となります。詳細は「入院申込書（兼誓約書）」をご覧ください。

入院中で限度額証の利用を希望する場合は、病棟スタッフにお知らせください。ただし、前の月に遡っての利用希望には対応しておりません。

3. ご自身で申請する方法

あなた自身で申請する場合、あなたが加入している保険者へ直接お問い合わせください。

申請から限度額証が自宅に郵送されるまで、通常2～3週間ほどかかります。

ご家族が代理人として申請する場合、別途委任状が必要となります。

また、申請書受付日より前の月の限度額証の発行は行われませんのでご注意ください。

4. 提示場所

限度額証は、入院初日の手続き時に健康保険証等と一緒に提示してください。入院時に提示を忘れた場合や入院中に限度額証を取得した場合も、すぐに病棟スタッフや2階の医事課窓口へ提示してください。また、申請中で限度額証の提示が難しい場合は、その旨を医事課にお知らせください。なお、「退院後の提示」や「提示した月より前の月の診療に対する提示」では、医療費の変更はできませんのでご注意ください。

入院費についてご不明な点は 2 階 医事課窓口へお尋ねいただくか、お電話ください。

電話番号：03-3400-1311（内線：一般病棟2144・2137／周産期2139）

受付時間：平日 9：00～16：30（5/1・12/29～1/3を除く）

表1 70 歳未満の方の自己負担限度額

区分	所得要件目安 ^{※1}	自己負担限度額	4回目以降 ^{※2} 多数回該当	食事代自己負担額 1食あたり
ア	901万円以上	25万2,600円+（総医療費 ^{※3} －84万2,000円）×1％	14万100円	490円
イ	600万円以上	16万7,400円+（総医療費－55万8,000円）×1％	9万3,000円	490円
ウ	210万円以上	8万100円+（総医療費－26万7,000円）×1％	4万4,400円	490円
エ	210万円未満	5万7,600円	4万4,400円	490円
オ	住民税非課税世帯	3万5,400円	2万4,600円	230円（90日まで） 180円（90日以上） ^{※4}

表2 70 歳以上の方の自己負担限度額 ^{※65 歳以上の方で障害認定を受けて後期高齢者医療制度に加入している方を含む}

区分	所得要件目安 ^{※1}	自己負担限度額		4回目以降 ^{※2} 多数回該当	減額後食事代 自己負担額 1食あたり
		外来のみ（個人単位）	入院・外来（世帯単位）		
現役並みⅢ	690万円以上	25万2,600円+ （総医療費 ^{※3} －84万2,000円）×1％		14万100円	490円
現役並みⅡ	380万円以上	16万7,400円+ （総医療費－55万8,000円）×1％		9万3,000円	490円
現役並みⅠ	145万円以上	8万100円+ （総医療費－26万7,000円）×1％		4万4,400円	490円
一般	145万円未満 低所得Ⅱ・Ⅰ以外	1万8,000円 （年間14万4,000円）	5万7,600円	4万4,400円	490円
低所得者Ⅱ	住民税非課税世帯	8,000円	2万4,600円		230円（90日まで） 180円（90日以上） ^{※4}
低所得者Ⅰ	住民税非課税世帯 （年金収入80万円以下 など）	8,000円	1万5,000円		110円

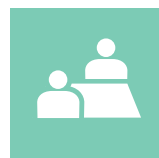
- ※1 年間所得とは、総所得金額等から基礎控除額を差し引いた額のことを指します。
- ※2 診療月から直近 11ヶ月間に当センターで限度額証を使用して、自己負担限度額を超える支払いが4回目以降の場合
- ※3 総医療費とは、請求書 / 領収書の総点数を10倍した金額です（1点＝10円）。
- ※4 入院期間により自動的に減額される制度ではありません。保険者へ90日間入院していたことの証明と申請手続きが必要です。

＜ご注意＞

※自己負担限度額は、医療機関ごと、入院・外来別に計算され、合算されません。

※同月に入院や外来、他の医療機関の受診などがある場合は、別途高額療養費の申請が必要になることがあります。

※室料代等や食事代は、自己負担限度額に含まれません。



患者支援センター／医事課窓口／ がん相談支援センターのご案内

12 患者支援センター（各種相談窓口）のご案内

患者さんやご家族のさまざまなご相談をお受けしています。医療ソーシャルワーカー・看護師・薬剤師等が、以下のご相談に応じます。

場 所: 1階 総合案内横

利用時間: 平日 9:00～16:30

料 金: 無料

- ご家庭での介護や療養生活に関する心配事
- 医療費や生活費などの経済的不安
- 障害者手帳、難病医療、障害者年金等の社会保障制度や福祉サービスについて
- 在宅医や訪問看護、転院先や福祉施設のご紹介
- 介護保険の利用
- 「かかりつけ医」のご紹介など

2R 医事課窓口のご案内

場 所: 2階 生理機能検査室前

利用時間: 平日 8:30～17:00

- 医療費・金額証明などのお問い合わせ
- 医療券管理表・通院証明書押印（過去分）
- 病気療養に関わる心配ごと、困りごと
- 病院に対するご意見

06 がん相談支援センターのご案内

がん専門看護師ががんに関するさまざまなご相談をお受けしています。がんに関する相談をご希望の方は、ご本人に限らずどなたでも1回30分程度、面談もしくは電話でご利用できます。

場 所: 1階 会計窓口横

利用時間: 平日 9:00～16:30

料 金: 無料

※予約は不要ですが、面談中などによりお待たせする場合がありますので、あらかじめご了承ください。
※電話で相談する場合の連絡先: 03-3400-1311 (内線2237)



退院決定から退院までの流れ／ 入院費のお支払い

退院の許可

- 主治医から退院の許可がありましたら、看護師から手続きについてご説明します。

預かり品等の 返却等

- 預かっている薬剤等があればお返しします。
看護師と一緒に確認してください。

退院療養計画書の お渡し

- 退院にあたっての注意や退院後の療養についての計画をまとめた「退院療養計画書」をお渡しします。
- 必要時、かかりつけ医や転院先への「診療情報提供書」をお渡しします。

退院

- 入院（セキュリティ）カード、セーフティボックスの鍵の返却を確認します。
- 体温計等、病棟から貸し出しをしているものは必ずご返却ください。**
- 退院後の外来受診が必要な場合があります。
その際は退院時にご説明します。
- 退院時刻は午前中（原則10:00まで）**でお願いしています。

入院費のお支払い

【入院費のお支払いについて】

入院費は、月末および退院時に請求書を作成いたします。お受け取り後、速やかにお支払いください。

◇原則、退院時の支払いは不要です。請求書は、後日、発送いたします。

◇月次締めのご請求書は、翌月12日頃に病室へ配布、もしくはご自宅等へ発送いたします。

◇ご請求後、追加請求が発生する場合もございます。その際は、ご連絡の上で請求させていただきます。

◇医療費後払いクレジット決済サービス登録の方は自動決済されます。

◇入院中に概算額を確認されたい場合、病棟スタッフへお申し出ください。

【お支払い場所/時間】

■自動精算機 平日 9:00～17:00

■1階「入院会計」 平日 8:30～17:00

※上記以外の時間帯ならびに休診日は、1階「救急外来」にて対応しています。

【お支払い方法】

お支払いは現金、銀行振込、クレジットカードでのお取り扱いとなります。



1階売店内に現金自動預け払い機（ATM）を設置しておりますので、ご利用ください。

※一部、ご利用いただけない金融機関がございます。



診断書・証明書 の作成申込について

- 診断書等の作成には、おおむね中10営業日の時間を頂戴しております。
- 診断書等の作成申込は、退院日が確定したらお願いします。現在の入院に関わる診断書等の申請が入院中に行われた場合、退院日の翌営業日から作成を始めます。
- 病理診断結果を含む診断書等は、外来での病理結果説明日の翌営業日から作成を始めます。
- 1回の入院中に診療科が変更となった場合、各診療科の医師がそれぞれに診断書等を1枚ずつ作成します。この場合、診断書の作成料は診療科ごとに発生します。
- 完成した診断書等の郵送希望の方は、申込時に返信用レターパックプラスをご提出ください。
- 未払いの医療費がある場合、原則診断書等のお渡しは全額の支払い完了後となります。
- 診断書等の種類によっては手続きが異なる場合があります。詳細は文書窓口でお問い合わせください。

文書受付窓口/受付時間

2階 文書窓口 平日9:00～16:30

※電話によるお問い合わせ 03-3400-1311 (代表) (内線2084)

※文書種類により外来の各診療科受付でのお取り扱いになる場合もございます。



※詳細はホームページ
よりご確認ください。



災害時（地震・火災発生時） の対応

- 地震、火災などの非常事態が発生した場合は、一斉館内放送をします。
- 避難を必要とする際は職員が誘導いたします。職員の指示をお待ちください。
- 非常口、避難経路はあらかじめご確認ください。
- 動ける方は貴重品を身に付けてください。避難時は貴重品以外の荷物は持たないでください。
- 動けない方は職員が参りますので、そのままお待ちください。
- エレベーターは使用しないでください。

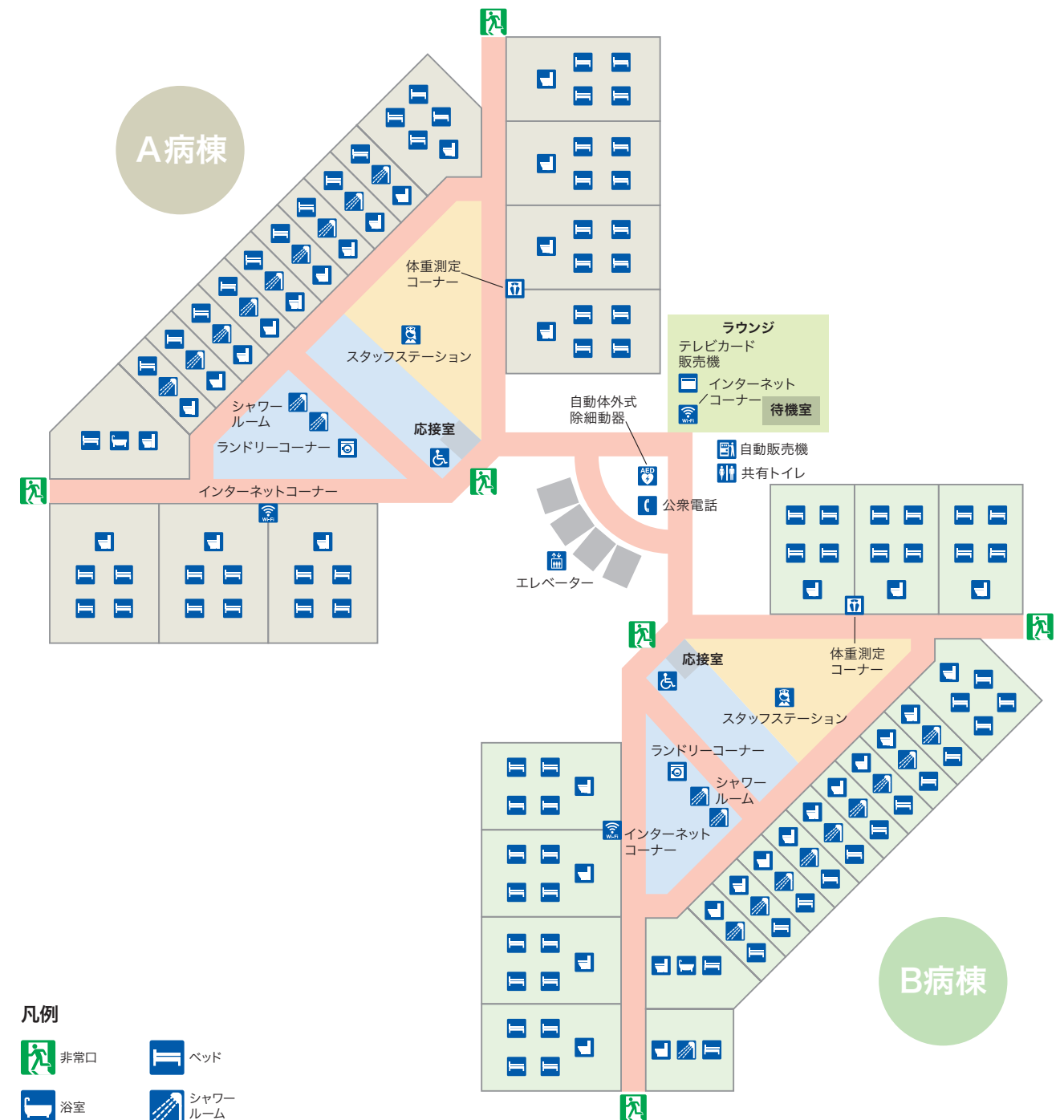
地震発生時

- 病院の建物は大地震にも耐えられる免震構造になっています。
- 揺れを感じたり、緊急地震速報を受けたら、まず身の安全を最優先に行動しましょう。
- 物が「落ちてこない」「倒れてこない」「移動してこない」空間に身を寄せ、揺れがおさまるまで様子を見ましょう。
- 病室から飛び出さないでください。

火災発生時

- 職員が避難誘導を行います。職員の指示に従って避難してください。
- 避難するときは、できるだけ背を低くしてタオルなどで口や鼻を覆ってください。

一般病棟フロアマップ（7階～11階）※11Aを除く



凡例

非常口	ベッド
浴室	シャワールーム
トイレ	体重測定コーナー
インターネットコーナー	テレビカード販売機
ランドリーコーナー	自動体外式除細動器
自動販売機	共有トイレ
スタッフステーション	多目的トイレ
エレベーター	公衆電話

i

施設案内

売店 「ローソン」	場所：1階 レインボースクエア 営業時間：7：00～23：00 年中無休（年末年始は営業時間の変更有） 介護・ケア用品の販売 宅配便取り扱い ATM（現金自動預け払い機） 新聞・コピー・FAX
コーヒーショップ 「タリーズコーヒー」	場所：1階 レインボースクエア 営業時間：平日 8：00～20：00／土日祝 9：00～19：00
図書コーナー 「にじいろライブラリー」	場所：3階 産科/眼科外来奥（病棟エレベーターホール付近）のエリア 利用時間：平日9：00～16：00 貸し出しは無料です
ATM（現金自動預け払い機）	売店「ローソン」内 ※一部ご利用いただけない金融機関がございます。 詳しくはATM備付のパンフレット等でご確認ください。
自動販売機	場所：病棟ラウンジ 病棟ラウンジでは販売種類を限定していますので、 外来の販売機または売店もご利用ください
駐車場	入院患者さんの駐車場のご利用はお断りしております ご面会の方は、地下駐車場をご利用できます
タクシー	1階エントランス前にタクシー乗り場があります 乗り場にタクシーが停車していない場合は、近くの警備員にお声がけください
郵便物	ポストは1階時間外出入口ドアの内側にあります 切手は売店で販売しています 入院中に届いた郵便物は、病棟にお届けします 書留等の受け取りは、印鑑が必要です 退院後に届いた郵便物は、ご自宅に転送します
コインロッカー	1階外来・入院患者出入口（バス停側）に設置しています 19：00～7：00はご利用できません 利用料金は1日300円です

※急な休業等もございますので当センターホームページでご確認ください。

凡例

- トイレ
- エスカレーター
(上り)
- コインロッカー
- 多目的シート
(トイレ内)
- 公衆電話
- オストメイト
対応トイレ
- 自動販売機
- おむつ交換用
ペーパーシート
(トイレ内)
- エレベーター
- 車いす対応トイレ
- 階段(上り)
- ATM
- ポスト



フロア構成表

	ヘリポート			
	A 病棟		B 病棟	
12階	12A	特別個室病棟		
11階	11A	一般病棟	11B	一般病棟
10階	10A	一般病棟	10B	一般病棟
9階	9A	一般病棟	9B	一般病棟
8階	8A	一般病棟	8B	一般病棟
7階	7A	一般病棟	7B	一般病棟
6階	6A	PCU(緩和ケア病棟) 一般病棟	6B	小児病棟
5階	5A	周産母子ユニット	5B	周産母子ユニット
	分娩室、MFICU、NICU、GCU、マザーフレンドリーホール(MFホール)			
4階	EHCU、EICU、ICU、血管撮影室、中央手術室、麻酔科、歯科口腔外科、血液浄化センター、病理部			
3階	骨・関節整形外科、脊椎整形外科、皮膚科、泌尿器科、耳鼻咽喉科、脳神経外科、眼科、産科、婦人科、小児保健、講堂、管理部門、にじいろライブラリー			
2階	内科(糖尿病内分泌科、血液内科、感染症科、膠原病・アレルギー内科、腎臓内科、緩和ケア科、神経内科、呼吸器内科、消化器内科、循環器内科)、外科(呼吸器外科、乳腺外科、胃・食道外科、肝胆膵・移植外科、大腸肛門外科、心臓血管外科)、メンタルヘルス科、小児科、小児外科 中央処置室、検査前説明コーナー、中央採血室(検体検査)、内視鏡室、生理機能検査室、化学療法室、リハビリテーション、治験センター、自己血採血室、医事課窓口、文書窓口、栄養相談			
1階	健康管理センター、救命救急センター、放射線科 初診・紹介状受付窓口、外来会計、入院会計、薬局窓口、お薬相談、患者支援センター、入院受付、がん相談支援センター レインボースクエア(売店、コーヒーショップ)、病棟案内、総合案内、守衛室			
B1階	放射線治療・核医学受付、栄養課、薬剤部			
B2階	訪問看護ステーション(日本赤十字広尾訪問看護ステーション)、病歴室、霊安室、解剖室、一般駐車場			